

あきる台たいむす

Akirudai Times



さつき薬局

秋川店

0425-58-8416

(あきる台病院すぐ前)

介護用品・一般薬品・保険調剤

月・火・水・木・金 9:00~18:30

土 9:00~13:00

※日曜・祭日はお休みです

発行所



医療法人財団 暁

あきる台病院

〒197-0804

東京都あきる野市秋川6-5-1

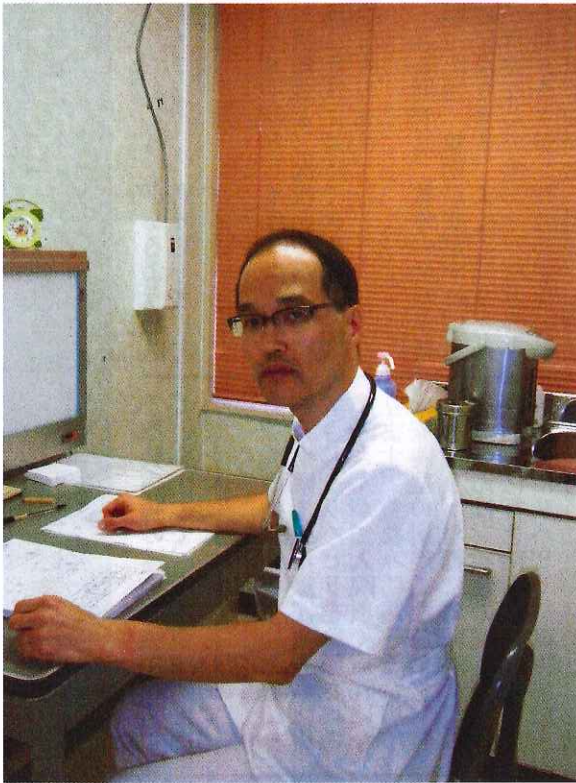
TEL (042) 559-5761

FAX (042) 559-8054

2010年(平成22年) 6月 1日

第13号

発行人: あきる台病院(医療福祉相談室)



市民の皆様への健康に役立ちたい

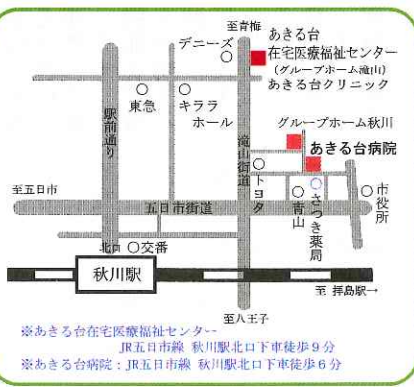
〜経験豊かな柴村先生〜

平成二十二年一月より、あきる台病院の常勤医となりました、柴村和久です。医師となつて二十年とあります。最初の十年間は内科医として主に急性期の救急病院に勤務していましたが、僻地医療嗜好があつたため、後半は「外科」「整形外科」「産婦人科」を初め「眼科」「耳鼻科」等も研修し、内科以外の科も勉強したりしてまいりました。

健康診断というと、メタボ健診やがん検診が思い浮かぶ方が多いと思いますが、三十歳代、五十歳代の働く方の休職や退職となる一番の原因は、がんでも心臓病でもありません。うつ病をはじめとする精神疾患です。通常の健康診断では、「血液」「尿」「便」検査や、レントゲン、超音波検査が中心になりますので、心の不調をなかなか発見しにくいのが現在の検診の問題点です。別名「心の風邪」と呼ばれる「うつ病」は脳内の神経伝達物質の働きや流れが悪くなる、意欲がなくなってしまう、病気で、ですから「食欲、性欲、睡眠欲」が低下し、ご

飯がおいしくなく、意欲がわかない、夜眠れない等といった症状が出ます。また、倦怠感や、頭痛、胸が苦しい、動悸、しびれ、下痢等の全身のいろいろな症状が出現しているのにもかかわらず、検査では異常がない・・・? というのが特徴です。うつ病は、大変なストレス状況の中で頑張り続けたり、急にいままでと全く違う環境におかれたりすると、誰もが起こりうる病気であり、また、何時発症するのかわかりませんが、予想することはできません。他の病気同様に「早期発見、早期治療」が大切です。夜眠れない、食欲がない、全身がだるい等、全身のいろいろなところの調子が悪いの、検査では異常がないといわれ、当院の医師までご相談下さい。

あきる台グループホームボランティア募集中
あきる台グループホームでは、お年寄りの方々と楽しく過ごしていただけるボランティアを募集しています。
※詳しくは医療福祉相談室まで



医事課のお仕事

医事課より

あきる台病院の正面玄関を入つてすぐ目の前にある外来窓口で皆様をお迎えしているのが、私たち医事課の職員です。主な業務の内容は、入院や外来に係る保険請求業務、外来窓口業務、あきる野市特定健康診断の実施や、それ等に伴う電話対応といった、当病院の総合窓口としての役割を担当しています。

患者様やその他のお客様の対応から事務作業までと、職務内容は多岐にわたっておりますが、医事課職員が共通して持っているのは、皆様に不都合無いよう、少しでも多く満足して頂けるサービスを提供したいという思いや、相手の立場に立つて物事を考えるという意志です。私たちは医師でも看護師でもありませんので、病気を治すお手伝いはできませんが、患者様の不安な気持ちを少しでも和らげられるようなサービスを提供できたらと思っております。しかし、常にこの場所で仕事をしている私たちでは、目の行き届かない事や気付かない点も多々あるかと思っております。皆様からのご意見やご提案を頂き、よりよいサービスへとつなげていきたいと思っておりますので、お気づきの点等ありましたら遠慮無くお声をおかけください。また、フロアにはご意見箱も設置しておりますので、こちらもお聞かせください。

それぞれ大切な役割分担 （救急病院・療養型医療施設）

医療福祉相談室では、患者さんやご家族から、医療・福祉制度についてや他病院の紹介、療養に関する事などの相談をお受けしています。その中で、救急（一般）病院と療養病院の違いについてのご質問を頂くことが多かったのですが、簡単にではありますがそれぞれ役割や体制についてご説明致します。

救急（一般）病院について

一般病院とは病床数が20以上で一般病床をもつ病院のことをいいます。その中で救急の指定を受けている一般病院は救急医療の出来る体制で以下のように分けられます。

一次救急・・・

かぜによる高熱や家庭では処置できない切り傷等を処置する医療機関をさします。初期救急で入院を必要としない状態の患者が主に対象となります。

二次救急・・・

入院や手術を必要とする患者さんを24時間体制で手術ができる設備がある医療機関をさします。

三次救急・・・

緊急手術、緊急入院を必要とする重症・重篤な症状の患者さんに対応できる救急救命センター

があるような医療機関をさします。

イメージとしては一次救急↓二次救急↓三次救急の順で、重篤な症状に対応できる体制が大きく異なります。

入院期間は、救急の治療が終わった後、状態が安定すれば退院になります。よく、「3ヶ月が目安なんですか？」などの声を聞きますが、救急の病院の場合にはよくなったら退院や転院と考えるのが基本です。その結果、早く退院できる患者さんと、幾分長くなる患者さんが出てきますが、救急の体制を維持するために早期の退院支援は必要なこととなります。

入院費用については、かかった費用の1割〜3割（保険負担は年齢やお持ちの保険証の内容によって違います。）を負担する形になります。よって大きな手術をした場合などは高額な費用請求となりますが、高額療養費の自己負担分が決まっていますので、保険外分を除いて後日手続によりもどります。

療養型医療施設について

療養型医療施設は医療保険を使った療養病床、医療療養型病床と介護保険を使った「介護療養型病床」とに分かれます。この違いを簡単に言ってしまうと、医療保険を使った入院か介護保険を使った入院かの違いです。ここでは救急（一般）病院

と療養病院の違いを主に説明していますので、療養型病院とひとまとめにして説明をします。

療養型病院は、主に救急（一般）病院での治療が終わった患者さんやリハビリを希望される患者さんがご入院頂く病院になります。ちなみにあきる台病院は療養型の病院になります。前述の通り、早期に治療が必要な患者さんは、救急の対応ができる病院に行き治療します。その治療後にリハビリや継続治療・療養を行うことを目的とした病院を療養型病院といいます。

入院期間は各療養病院の考え方もありますが、半年から1年が一般的です。中にはそれ以上の長期の受け入れも可能な病院もあります。

入院費用については、かかった費用の1割〜3割は救急（一般）病院と一緒です。救急（一般）病院と大きく違うのは、保険外負担の割合が入院費の大きなウエイトをしめることです。保険外負担の主なものはオムツ代や洗濯代、リース代、個室代などがあります。

最後にまとめになりますが、救急（一般）病院の主な目的としては急を要する疾患の対応や診療所やクリニックでは対応が難しい疾患の治療を行うところになります。

療養病院は、救急（一般）病院で治療が終わった後の継続治療やリハビリを行うところになります。一番大切なことは、診

療所やクリニック、救急（一般）病院、療養型病院などのあらゆる医療機関が相互につながり、連携し診療にあたることだと思えます。各医療機関の得意分野機能を理解することで医療機関を利用する私たちにも、医療機関側にもメリットが生まれると思います。今後も皆さんの身近な話題について取り上げていきたいと思っております。何かご意見やご要望、又ご質問などございましたら、どうぞ遠慮なく医療福祉相談室までお声かけ下さい。

医療福祉相談室・岩澤

第24回 歌を楽しむ会のお知らせ（入院患者様、ご家族様）

あきる台病院では、入院患者様とご家族、職員とが歌と一緒に楽しむレクリエーション会を毎月第3水曜日に行っております。毎回多数の患者様、ご家族様のご参加を頂き、楽しい会を催すことができております。

平成22年8月18日（水） 3:00～4:00
1病棟デイルーム（合唱、リズム体操など）



介護保険の相談は

お問い合わせ
TEL: 042-550-6101



あきる台病院 ケア・サービス

訪問看護・訪問介護・居宅療養管理指導
居宅介護支援・通所リハビリ・訪問リハビリ

確かな技術

快適性
安心

人間ドック



あきる台病院 健診センター

皆様の健康を、心・身・社会の観点から多角的に
チェック・確認し、適切なサービスで支援します

お問い合わせ・ご予約はこちらまで

TEL: 042-559-5449 / 2943 (直通)